広報
奥出雲
2021
令和3年
1
No.190

三沢幼児園 とんどさん

今月号の主な内容

年頭のご挨拶 …… 2
令和２年度おくいずも子育て応援事業所を認定 …… 4
公職選挙法の改正による選挙公営制度の拡大について …… 6
奥出雲町議会議員一般選挙の執行及び立候補予定者説明会の開催について …… 7
認知症サポーター養成講座が開催されました …… 9

わたしたちの町

人　口 12,176人／男 5,899人／女 6,277人／世帯 4,771世帯(1月1日現在)

年頭のご挨拶

奥出雲町長　勝田康則

新年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えになられましたことと存じます。心からお慶びを申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症が日本全国に広がり、これまでの生活が一変する大変な事態となりました。このような中で、本町では、商工業者や学生等への補助金や給付金などを創設し、町内経済や町民生活を下支えする支援策を講じてまいりました。新年を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症の収束はまだ見通せない状況です。

今年も地域の状況を見ながら、また、皆様のご意見などを頂戴しながら、引き続き、最大限の対策を実行してまいりたいと考えています。

さて、世界農業遺産認定に向け、昨年12月に世界農業遺産等専門家会議の委員などにより、国内承認に向けた現地調査が行われました。

1月下旬にプレゼンテーション発表による二次審査が行われ、承認が得られれば、FAO国連食糧農業機関へ申請及び現地調査が行われる予定です。今後は行政だけでなく、地域の活動組織や農業者、関係団体などの参画・連携が求められており、目標を共有し、次世代へとつなげる未来志向の取り組みを進めてまいります。

次に仁多米についてです。第22回米・食味分析鑑定コンクールが11月に静岡県で開催され、奥出雲仁多米株式会社の「おいしい仁多米をつくる会」が出品した「コシヒカリ」が、見事4年連続10回目の金賞を受賞しました。

今回の受賞により、今年も「仁多米」が品質の高い良質米であることを国内外に発信できたと考えています。

なお、金賞を10回獲得すると、「ワールド・ライス・アワード・ゴールド10」に認定されることとなっており、本年、秋に開催予定の同コンクールで、正式に認定される見通しです。今後も魅力ある地域資源を活かし、農産物のブランド化、観光客の誘客など、地域の活性化につなげてまいります。

最後に奥出雲町立小学校再編についてです。新型コロナウイルス感染症の影響で、校区別協議会の立ち上げが当初の予定より大幅に遅れていますが、教育委員会と町長部局が連携し、スピード感をもって取り組んでまいります。

本年も町民の皆様から要望の多い生活基盤整備、雇用対策、定住対策、子育て支援、医療・福祉などの充実に取り組むことはもちろん、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら必要な対策を講じつつ、健全で持続可能な財政運営を図ってまいります。

引き続き、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

第52回全国高等学校選抜ホッケー大会激励式

～大会に向けて抱負を語っていただきました～

前からプレッシャーをかけ、ボールをカットし、得点に繋げる横高らしいプレーで日本一を目指します。

支えて下さった方々に、感謝の気持ちをしっかり伝えられるプレーをし、いい結果を残したいです。

女子ホッケー部主将　千原明音選手

男子ホッケー部主将　嵐谷迅選手

第52回全国高等学校選抜ホッケー大会に出場する横田高校男女ホッケー部の激励式が12月16日に横田高校で行われ、選手を代表して、それぞれの主将が出席しました。勝田町長から「練習の成果を十分に発揮し、頂点を目指して頑張ってください」と激励のあいさつがありました。

大会は、12月22日から27日にかけて岐阜県で開催され、各地区予選を勝ち抜いた全国の男女各24チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。その結果、男子ホッケー部は準決勝で栃木県今市高校に1－0で惜敗し、決勝進出はなりませんでした。また、女子ホッケー部は、1回戦で栃木県今市高校に1－0で敗退しました。

春の高校バレー
第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会激励式

第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会に出場する仁多中学校出身の内田克弥選手（松江高専）と部田光選手（安来高校）の激励式が、12月下旬に役場で行われました。勝田町長から「新型コロナウイルス感染症の影響により、満足のいく練習ができなかったかもしれませんが、気力と体力でぶつかってほしい」と激励の言葉が送られました。

大会は、1月5日から10日にかけて東京都で開催され、各県予選を勝ち抜いた全国の男女各52チームが出場しました。その結果、松江高専は埼玉県昌平高校に、安来高校は奈良県奈良文化高校に敗れ、初戦敗退となりました。

～大会に向けて抱負を語っていただきました～

国体、インターハイが中止となり、春高バレーに絶対出場したいと思い練習に励みました。ベスト8を目指します。

一つ一つのプレーを大切にし、得点が決まった時は全力で喜ぼう！とチームメイトと話しています。ベスト16を目指します。

松江高専3年　内田克弥選手

安来高校1年　部田光選手

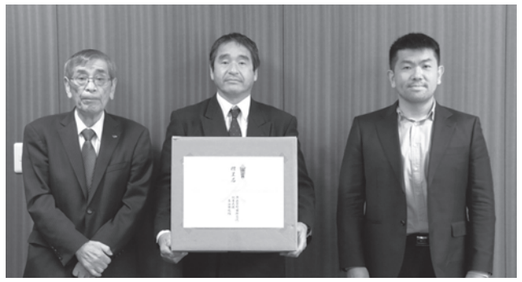
奥出雲町国際交流親善大使　仁多乃炎太鼓へ足袋を贈呈

12月16日、奥出雲町国際交流親善大使である長谷部俊昭さん（ハンガリー外務貿易省アジア方面政府代表）が、役場仁多庁舎を訪問され、仁多乃炎太鼓へ足袋を贈呈されました。贈呈式には、勝田町長をはじめ、仁多乃炎太鼓の内田会長ら関係者６名が参加しました。

長谷部さんは平成29年7月に奥出雲町国際交流親善大使に任命された際、歓迎行事で仁多乃炎太鼓の演奏を聞かれ、感銘を受けられました。これをきっかけに、平成29年12月には仁多乃炎太鼓をハンガリーへ招待し、ハンガリー公演が実現しています。

この度、コロナ禍によりさまざまなイベントが中止となり、仁多乃炎太鼓が演奏する機会が減少したことを知った長谷部さんは、仁多乃炎太鼓メンバーを励ましたいという思いから足袋を贈呈されました。

長谷部さんは、「仁多乃炎太鼓をハンガリーへ再度、招待したい。ハンガリーの皆さんに太鼓の魅力を知ってもらうだけでなく、町内の子どもたちが、世界で活躍する仁多乃炎太鼓に憧れを抱いて、後継者が増えると嬉しい」と話されました。



勝田町長、内田会長（中央）、長谷部氏（右）

仁多乃炎太鼓へ贈呈された足袋

今後、長谷部さんには、文化交流のほか、町内の企業がハンガリーへ進出する際の支援などで協力していただくことが期待されています。

木次乳業有限会社・株式会社山陰合同銀行 図書カードを寄贈

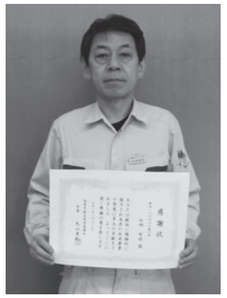
木次乳業有限会社と株式会社山陰合同銀行から奥出雲町と雲南市の小中学校に対し、図書カードが寄贈されました。寄贈式は、12月4日に雲南市役所で行われ、関係者5名が参加しました。

木次乳業有限会社では、コロナ禍で牛乳の需要が厳しい中、学校給食での牛乳販売が経営への一助となりました。その感謝の思いから、株式会社山陰合同銀行の商品である「教育機関寄贈型」私募債を利用し、奥出雲町の子どもたちの健やかな育ちを応援するために寄贈されました。

左から、木次乳業佐藤専務、奥出雲町松田教育長、木次乳業佐藤社長、雲南市景山教育長、山陰合同銀行雲南支店小川支店長

令和2年度 島根県献血推進協議会 功労者表彰を受賞されました。

献血推進について著しい功績があった方を表彰する島根県献血推進協議会功労者表彰を松﨑智昭さん(八川)が受賞されました。松﨑さんが高校生のときから始めた献血の回数は、100回を超えています。松﨑さんは、「機会があるごとに献血させていただきました。わずかな時間で何かしらの社会貢献ができているとすれば幸いです。今回このように表彰していただき、今後も積極的に献血活動に協力していきたいと考えています。」と話されました。



町では移動採血車による献血を年2回(5月、10月)実施しています。多くの方のご協力をお願いいたします。

令和2年度おくいずも子育て応援事業所を認定

町では仕事と子育ての両立を応援する事業所を「おくいずも子育て応援事業所」として認定する制度を平成27年度から実施しています。今年度は、アクアシステム株式会社奥出雲営業所と株式会社丸共の2社を認定し、勝田町長から認定証等が手渡されました。各事業所で実施されている“子育てしやすい職場づくり”の取組を紹介します。

アクアシステム株式会社 奥出雲営業所

子育て世代に限らず、孫育て世代の従業員の方も休暇を取りやすい体制づくりに配慮されています。また、定期的に全営業所の状況を共有し、従業員の配置に協力し合って、仕事と子育ての両立に向けた取り組みを実施されています。

株式会社 丸共

休暇を取得しやすい環境づくり、急な休みにも対応できる体制づくりへの配慮や従業員向けに住宅を確保するなど、仕事と子育ての両立に向けた取り組みを実施されています。また、従業員間の交流により、要望を出しやすい環境づくりを積極的に取り入れられています。

【お問い合わせ】
奥出雲町教育委員会 結婚・子育て応援課　有線:20-4273 電話:52-2206

農福連携共同作業所『おくこね』が開所されました。

12月15日、㈱サンエイトがひきこもりの方の就労を支援する農福連携共同作業所「おくこね」の開所式をカルチャープラザ仁多で行い、勝田町長をはじめ、関係者9名が出席しました。

農福連携とは、農業と福祉分野が連携し、農業分野での活動を通じ、障がい者等の就労や社会参画の機会を確保することです。

㈱サンエイトは、奥出雲町社会福祉協議会と平成31年に事業の連携契約を締結し、ひきこもりの方の社会復帰を支援する活動を行っています。この度、利用者の増加に伴い、十分に作業ができる広さの作業所を確保するために町内にある空き施設を改修し、「おくこね」を開所しました。この施設では、㈱サンエイトの農業部門として、えごま油の精製や唐辛子の粉砕などの作業が行われます。

当施設の愛称「おくこね」は、「奥出雲をコネクトする」を略したもので、当施設が人と人を繋ぎ、地域を未来へと繋ぎ、利用した人々を幸せへと繋げる施設にしたいという思いが込められています。

開所式の様子

三井野原スキー場オープン

三井野原スキー場の様子

12月19日、三井野原スキー場がオープンしました。昨年は暖冬による雪不足であったため、2年振りのオープンとなりました。三井野原スキー場は、なだらかな斜面で見通しが良く、初心者やファミリー向けのゲレンデです。

例年、三井野原観光協会主催でスキー場開きが行われ、シーズン中の安全と盛況を祈願していますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりスキー場開きは行われませんでした。

また、感染対策として、スキー場では、券売所での検温、マスクの着用やリフト待ちで並ぶ際のソーシャルディスタンスの確保をお願いしています。

スキー場は2月末まで営業をする予定です。

積雪情報をチェックするには　三井野原スキー場　検索
http://www.okuizumo.ne.jp/~miinohara/

みんなで人権について考えよう「人権標語・イラスト」優秀作品を表彰

人権意識の高揚と啓発を図るため、奥出雲町人権教育推進協議会では毎年、人権標語と人権イラストを募集しています。

今年は、標語に873点、イラストに19点の応募があり、12月5日、横田コミュニティセンターで表彰式が行われました。各部門の最優秀作品は次のとおりです。

【標語の部】

狩野 聖愛さん（かのう しょうま）　三成小３年

『それぞれみんな
ちがうけど
それがみんなの
いいところ』

【イラストの部】

石原 妃奈乃さん（いしはら ひなの）　鳥上小６年

男女共同参画川柳

老いてなお
夫婦相和し　イノベーション

多様化の時代、自分の考えを一方的に伝えるのではなく、夫婦で話し合いお互いを尊重し合う考え方を取り入れていきたい。

奥出雲町男女共同参画サポーター

公職選挙法の改正による選挙公営制度の拡大について

公職選挙法では、お金のかからない選挙制度の実現とともに、候補者の選挙運動に係る経費の負担をできるだけ軽減することにより、立候補の機会均等を図るため、国または地方公共団体が候補者の選挙運動費用を負担する制度（このことを「選挙公営制度」といいます。）を設けています。

町では、公職選挙法の改正に伴い、新たに条例を制定して選挙公営制度の拡大を図りました。この条例により候補者の選挙運動費用の一部を町の公費で負担できるようになりました。（このことを「公費負担」といいます。）

また、町村議会議員選挙についても供託金制度が導入され、候補者が一定の得票数（供託物没収点）以上の得票が得られない場合は、供託金が没収されるとともに、公費負担の対象外となります。

◎新たに公費負担の対象となる事項

一定の金額を限度として、選挙運動用自動車の使用、選挙運動用ビラの作成及び選挙運動用ポスターの作成に要した費用を町が負担します。公費は、候補者に支払われるのではなく、あらかじめ候補者と契約した業者等に支払うようになります。

●選挙運動用自動車の使用

※一般運送契約とは、自動車借入、燃料供給及び運転手雇用について一括契約することです。
※候補者は、一般運送契約または個別契約のいずれかを選択します。
※限度額を定額で支払うものではなく、限度額の範囲内で実際に要した費用を支払います。
※無投票の場合は、告示日1日分が対象となります。
※町長、町議の選挙期間は5日です。

契約の種別	限度額
一般運送契約	1日1台64,500円（法定単価）×5日（選挙期間）=322,500円
個別契約	①自動車借入 1日1台につき15,800円（法定単価）×5日（選挙期間）=79,000円
	②燃料供給 1日7,560円（法定単価）×5日（選挙期間）=37,800円
	③運転手雇用 1日1人12,500円（法定単価）×5日（選挙期間）=62,500円

●選挙運動用ビラの作成

※限度額を定額で支払うものではなく、限度額と法定枚数の範囲内で実際に要した費用を支払います。
※無投票の場合でも公費負担の対象となります。

選挙の区分	限度額
町長選挙	1枚7.51円（法定単価）×5,000枚（法定枚数）=37,550円
町議会議員選挙	1枚7.51円（法定単価）×1,600枚（法定枚数）=12,016円

●選挙運動用ポスター作成

※限度額を定額で支払うものではなく、限度額とポスター掲示場数の範囲内で実際に要した費用を支払います。
※無投票の場合でも公費負担の対象となります。

限度額
1枚2,896円（法定単価による算定額）×131ヵ所（ポスター掲示場数）=379,376円

◎供託金制度について

供託は、当選を争う意思のない人が売名など無責任に立候補するまたは候補者の乱立を防ぐため、立候補届け出の際に候補者や政党が現金等を法務局等に預ける制度です。これまで町長選挙には供託金制度が導入されていましたが、公職選挙法の改正に伴い、町議会議員選挙においても供託金制度が導入されました。

この制度は、候補者の得票数が次の供託物没収点に達しない場合は、供託金が没収となり公費負担の対象外となります。

【供託金額】15万円（町長選挙は50万円）
【町長選挙】供託金没収点=有効投票の総数÷10
【町議会議員選挙】供託金没収点=（有効投票の総数÷議員定数）÷10

◎制度の詳細は、立候補予定者説明会の際にご説明いたします。

●奥出雲町選挙管理委員会　有線 31-5226　電話 54-2505

奥出雲町議会議員一般選挙の執行及び立候補予定者説明会の開催について

任期満了に伴う奥出雲町議会議員一般選挙についてお知らせします。

【選挙期日】（投開票日）4月18日（日）【告示日】（立候補届出日）4月13日（火）
【立候補予定者説明会】
<日時>3月22日（月）午後1時30分から（受付は、午後1時から開始します。）
<場所>役場仁多庁舎4階大会議室
※立候補予定者1名につき、説明会への出席者は2名までとします。
※出席者は、マスクの着用をお願いします。
※当日、発熱のある方、体調がすぐれない方は、代理の方の出席をお願いします。

【立候補できる方】
⑴年齢要件　平成8年4月19日以前に生まれた方（選挙期日現在25歳以上）
⑵住所要件　令和3年1月12日以前に奥出雲町の住民基本台帳に登録され、引き続き居住されている方

令和3年度放課後児童クラブ加入申込みのお知らせ

申込受付期間：令和3年1月18日(月) ～ 令和3年2月12日(金)

小学校下校時、就労等により保護者が家庭にいない児童に遊びや生活の場を提供します。

【加入対象児童】小学校1年生～6年生
【申込書配布場所及び提出先】
各幼児園または結婚・子育て応援課
※加入中のお子さんについては、各児童クラブから申込用紙をお渡しします。

◎詳しくは町ホームページをご覧いただくか、下記まで問い合わせください。

<お問い合わせ>
奥出雲町教育委員会 結婚・子育て応援課 有線：20－4273　電話：52－2206

病児保育施設“ほっとすてい”

令和3年度 登録申込みのお知らせ

お子さんが病気にかかったり、回復期にあって安静にする必要があることなどから幼児園や小学校に通うことができず、保護者が仕事等のため家庭で保育ができない場合に利用できます。
病児保育施設を利用するには、毎年度登録申込みが必要です。

※利用時間・料金等は町のホームページを確認していただくか、結婚・子育て応援課へ問い合わせ下さい。

登録対象年齢：1歳～小学校3年生まで
申込受付期間：1月18日（月）～　随時受付
申請書等設置場所：病児保育施設“ほっとすてい”、各幼児園、仁多庁舎 町民課、横田庁舎 結婚・子育て応援課
申請書等提出先：各幼児園、各小学校、仁多庁舎 町民課、横田庁舎 結婚・子育て応援課

【お問い合わせ】奥出雲町教育委員会　結婚・子育て応援課
有線：20－4273　電話：52－2206

奥出雲町高齢者生活交通サポート券・タクシー利用助成券を活用しましょう

自家用車を保有していないため、公共交通や他者の協力を得ないと外出ができない高齢者の方の外出における負担を軽減し、日常生活の利便性の向上をはかります。

町内のバスやタクシーで使用できる10,000円分（額面200円×50枚）の奥出雲町高齢者生活交通サポート券を交付します。

【対象者】 以下の（1）から（3）の条件を満たす方
（1）単身世帯に属する70歳以上の高齢者であって、自らの交通手段を持たない方。
（2）世帯員のいずれもが自らの交通手段を持たない世帯に属する70歳以上の方。
（3）非課税世帯に属する70歳以上の高齢者であって昼間に病院への通院等のための交通手段を持たない方。
【使用期間】 毎年10月1日から翌年10月31日まで
【使用できる業者】 奥出雲交通、あいタクシー、簸上タクシー、たたらタクシー
【申請書設置場所】 奥出雲町福祉事務所（役場仁多庁舎）

また、上記の条件のほか、下記の【対象者】（ア）、（イ）の条件を満たす方に、タクシー料金の一部を助成するタクシー利用助成券を交付します。

【対象者】
（ア）自宅から最寄りのバス停までの距離が400メートル以上の方。
（イ）自宅から最寄りのバス停までの歩行が困難な方。
【使用期間】 毎年4月1日から翌年3月31日まで
【使用できる業者】 あいタクシー、簸上タクシー、たたらタクシー
【申請書設置場所】 奥出雲町福祉事務所（役場仁多庁舎）

【申請先・相談窓口】
・奥出雲町福祉事務所（役場仁多庁舎）
有線：31-5373　電話：54-2541
・地区の民生委員（ご自身の担当民生委員がわからない場合は、奥出雲町福祉事務所へご連絡ください。）

大東税務署からのお知らせ

スマホから確定申告

新型コロナウイルス感染リスク軽減

1 密を作らない

感染症防止の観点から**確定申告会場の混雑緩和のため**会場への入場には**「入場整理券」**が必要です。

2 入場整理券

入場整理券は、各会場で当日配付。
LINEから、事前発行もできます。
＊国税庁LINE公式アカウントを友だち追加してください。
＊**令和3年1月中旬から運用開始**

「確定申告書等作成コーナー」国税庁HP

3 スマホ専用画面

給与所得、雑所得や一時所得がある方など、多くの方が**スマホ専用画面**をご利用いただけます。
申告書の作成はこちらから！

4 申告書作成・送信！

◆申告書を作成画面の案内に従って金額等を入力し作成。
◆申告書を送信　○ マイナンバーカード方式　○ ID・パスワード方式　いずれかの方法で送信。

＊印刷して所轄の税務署へ提出することもできます。

大東税務署　国税庁HP　検索

【お問い合わせ】 大東税務署　電話：0854-43-2360

所得税（住民税）の確定申告で必要な方へ

「障害者控除認定書」「おむつ代医療費控除証明書」を発行します。

① 障害者控除認定書

◇申請に必要なもの
●手続きに来られる方の本人確認書類
●該当の方の介護保険被保険者証（写しでも可）
●印鑑
●医師意見書（介護保険の認定を受けていない方のみ）

② おむつ代医療費控除証明書

概ね6ヵ月以上寝たきりで、おむつが必要と認められる方は、医療費控除におむつ代を含める事ができます。

◇申請に必要なもの
●該当の方の介護保険被保険者証（写しでも可）
●印鑑
※初めて控除を受けられる方や介護保険の認定を受けていない方は医療機関へご相談ください。

③ 申請場所・期間

健康福祉課（仁多庁舎）又は税務課（横田庁舎）

令和3年3月16日（火）まで

【お問い合わせ】 健康福祉課　保険グループ
有線:31-5122　電話:54-2511

横田高校

横田高校の活動をお知らせする「よここうコーナー」

前号に引き続き、令和2年度横田高校後期生徒会長に就任した藤原ゆりかさんに、生徒会を運営する上での心境を語っていただきました。【後編】

町民の皆さんにはいつも横田高校の活動を支えていただき、ありがとうございます。現在、『地域活動FUN!　CLUB』メンバーを中心に、奥出雲町各地でボランティア活動等を活発に行っています。町内のイベント等で、横田高校の制服姿や体操服姿を以前より多く見かけるようになったと私自身も感じています。

横田高校生徒会執行部では、横田高校の様子などをさらに発信して、町民の皆さんに横田高校をより身近に感じていただく取り組みや、皆さんに恩返しができるような取り組みも行っていきたいと思います。

最後になりますが、日々変わっていく状況の中で、私たち高校生も一日一日をこれまで以上に大切にして頑張っていきます。今後とも横田高校の応援をよろしくお願いいたします。

生徒会の皆さん▶

認知症サポーター養成講座が開催されました

11月28日、八川地区の八川レクリエーション部の皆さんが、キャラバンメイトである山根豊和さんを講師に招き、認知症サポーター養成講座を受講されました。

内容は認知症について、診断と予防や自分たちに何ができるかをご自身の体験談などを交えて分かりやすく話されました。

【認知症サポーターとは】
認知症を正しく理解し、地域で認知症の人やその家族を見守り、できる範囲で手助けをする人です。
【キャラバンメイトとは】
認知症についての講習を受講し、認知症サポーター養成講座の講師となる人です。

講座を開催させて頂ける団体を募集しています。

費用は無料。奥出雲町内ならどこへでもキャラバンメイトが出かけて行きます。
詳しくは、奥出雲町地域包括支援センターにお問い合わせください。

【奥出雲町地域包括支援センター】
役場仁多庁舎　有線：31−5135　電話：54−2512

【参加された方の感想】
・認知症をもっともっと多くの人に理解してもらえるようになるといいなと思いました。
・楽しく、わかりやすく受講できました。
・もっと早くこの話を伺っていたら祖母への対応がより良かったと思いました。
・またこういう機会があれば参加したいです。
・今回学んだ事を実際の場に生かしたいと思いました。
・認知症に対する心構えを良く理解できました。　等

受講して頂きありがとうございました

環境にもお財布にもやさしい生活にチャレンジ!!　「暖房器具の使い方にひと工夫」

本格的な冬到来！ひと工夫すると、暖房効率が上がってお財布にも環境にも優しくなりますよ。
●エアコンは熱効率は良いけれど、最初、温まるのに時間がかかります。ファンヒーターとエアコンを同時につけて、エアコンから温かい風が出てくるようになったら、ファンヒーターを切る方法があります。
●温かい空気は上がっていくので、扇風機やサーキュレーターを天井に向けて温かい空気を循環させると暖房効率が上がります。
●暖房器具は窓を背にして置いたほうが効果的です。窓に向けて置くとせっかく温めた空気が窓にあたって冷たくなってしまいます。
●昼間の窓は太陽の輻射熱が取り込まれるところでもあります。昼はカーテンや雨戸を開けて陽の光が入るように工夫し、太陽が沈んだらカーテンをすぐに閉めて断熱すると良いでしょう。

COOL CHOICE　未来のために、いま選ぼう。
地球温暖化防止対策地域協議会・エコナイト（奥出雲町在住しまねエコライフサポーターの会）

2月の行事予定

★★乳児健診★★

(問)健康福祉課54−2781

7・8か月児健診	25日(木)	令和2年6月・7月生	13:30〜13:45	奥出雲健康センター
10・11か月児健診		令和2年3月・4月生	12:45〜13:00	
1歳6か月児健診	18日(木)	令和元年6月・7月生	13:00〜13:15	

★★健康に関する相談★★

こころの健康相談日	1日(月)	14:00〜15:00(予約制)	役場仁多庁舎	(問)健康福祉課 54-2781
歯と口の健康相談室	4日(木)	10:00〜12:00(予約制)		
物忘れ相談会	16日(火)	8:30〜16:30		(問)地域包括支援センター 54-2512
健康・栄養相談日	8日(月)	9:30〜11:30(予約制)		(問)健康福祉課 54-2781
健康・栄養講座		14:00〜15:00(予約制)		
こころの健康&もの忘れ相談	10日(水)	13:00〜15:00(予約制)	雲南保健所	(問)雲南保健所 42-9642
アルコールによる困りごと相談	15日(月)	13:00〜15:00(予約制)		
思春期・青年期こころの相談 〜精神科医による〜	17日(水)	13:00〜15:00(予約制)		

★★結婚・子育てに関する相談★★

結婚・子育て コンシェルジュ相談所	21日(日)	10:00〜15:00	カルプラ仁多	(問)結婚・子育て応援課 52-2206
	24日(火)		横田コミセン	
結婚相談所「はぴこ」	14日(日)	10:00〜15:00(予約制)	カルプラ仁多	(問) 090-2860-2082(渡部)
	16日(火)	13:30〜15:30(予約制)		

★★所得税確定申告及び町県民税申告相談★★

(問)税務課52−2671

2月16日(火)〜3月15日(月)	役場仁多庁舎
	横田コミセン

★★農業所得の事前相談★★

(問)税務課52−2671

2月1日(月)〜5日(金)	9:00〜16:30	役場横田庁舎

★★その他の相談★★

出張年金相談	12日(金)	10:00〜15:30(予約制)	役場仁多庁舎	(予約先) 松江年金事務所 0852-23-9540
	26日(金)		役場横田庁舎	

★★イベント★★

(問)奥出雲多根自然博物館54-0003

素読論語「仁多志学塾」	10日(水)	奥出雲多根自然博物館

〜口座振替のお知らせ〜

税金・使用料など公共料金の1月分の口座振替は2月1日(月)です。

今回の振替は次の十四項目です。

○町県民税(第4期)
○国民健康保険税(第7期)
○後期高齢者医療保険料
○情報通信使用料
○上水道使用料
○下水道使用料
○保育料
○住宅使用料
○住宅駐車場使用料
○住宅共益費
○老人ホーム入所費用等徴収金
○訪問看護利用料
○介護サービス利用料
○介護老人保健施設利用料

＊納税通知書等で金額をご確認いただき、今一度通帳残高をお確かめいただきますようお願いいたします。

下水道使用料金(公共・農業・合併)について

◎使用人数の変更(転入・転出・出生・死亡)があった場合は、速やかに役場水道課へ届出をして下さい。使用人数によって使用料金が変わります。

みんなの掲示板

地域づくり×人づくり みんなでつくる地域の力

おくいずもを元気にする地域づくり塾「地域づくりアクション発表会」を開催します。

地域づくりを実践する人材を育成するため、8月から「おくいずもを元気にする地域づくり塾」を実施し、小さな拠点づくりに取組む地区の方を中心に受講いただき、コーディネーター兼プレイヤーとして計画から実践までを行う力を身につけてもらいました。

連続講座の最終回として、2月7日(日)に「地域づくりアクション発表会」を今年も開催します。

小さな拠点づくりや地域づくりに取組んでいる各地区の実践活動報告と成果、来期以降チャレンジすることなど地域づくりにつながるアクション(行動・活動)を発表していただきます。みんなでおくいずもを元気にしましょう!!

日時:令和3年2月7日(日)9:30〜12:00
場所:カルチャープラザ仁多3階大集会室
お問合せ先:地域づくり推進課　有線31−5262　電話54-2524

奥出雲町図書館 新着図書案内

カルプラ仁多図書室 ☎54-2083
横田コミセン図書室 ☎52-0949

カルチャープラザ仁多図書室

「自転しながら公転する」山本文緒 著
「アンダークラス」相場英雄 著
「民主主義とは何か」宇野重規 著
「いまはそれアウトです!」菊間千乃 著
「じょうききかんしゃビーコロ」ミノオカリョウスケ 作 絵
「こんにちは!わたしのえ」はたこうしろう 作
「部長会議はじまります」吉野万理子 作

2月の休室日
月曜日、祝日
月末休室(26日)

横田コミュニティセンター図書室

「デルタの羊」塩田武士 著
「ハグとナガラ」原田マハ 著
「一億三千万人のための『論語』教室」高橋源一郎 著
「放っておくとこわい症状大全」秋津壽男 著
「うどん対ラーメン」田中六大 作
「おなべさんとおたまちゃん」宮本えつよし 作
「もりのおふとん」西村敏雄 さく

2月の休室日
日曜日、祝日

・今月のピックアップ・

『とわの庭』

帰って来ない母を待ち、〈とわ〉は一人で生き延びる。光に守られて、前を向く。暗い淵のなかに身を沈めて仰ぎ見る、透き通った光。「生きているって、すごいことなんだねぇ」。歌う鳥たち。草木の香り、庭に降りそそぐ陽射し。虹のように現れる、ささやかな七色の喜び。ちっぽけな私にも、未来、はあるのだ。読み終えると、あたたかな空気が流れます。

(出版社紹介より記載)

広報カメラ記録

新春 書初め大会

丑年生まれ

新春　書初め大会に参加した年男・年女の皆さん

1月7日、横田コミュニティセンターで横田公民館主催の新春書初め大会が開催され、町内の小学生21人が参加しました。

講師には、町内で書道教室を開いている尾﨑潤子先生を迎え、書き方の指導を受けました。参加した小学生は、真剣な表情で筆と和紙に向き合い、思い思いの言葉を丁寧に力強く書き上げました。「希望の春」と書き上げた小学生の1人は、「今年は希望の持てる年にしたい」と述べました。

この日書いた作品は、冬休みの課題として学校に提出したほか、1月下旬から横田コミュニティセンターに展示されます。

発行所／島根県奥出雲町役場 編集／総務課 総務情報グループ
〒699-1592 島根県仁多郡奥出雲町三成358番地1
■TEL：0854-54-2505 ■FAX：0854-54-1229
ホームページアドレス URL:http://www.town.okuizumo.shimane.jp